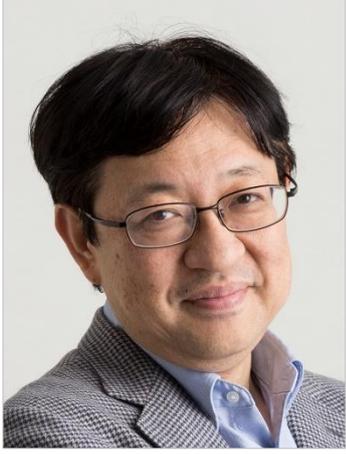


プロジェクトマネージャ紹介

氏名	北野 宏明	
ふりがな	きたの ひろあき	
所属	株式会社ソニーコンピュータサイエンス研究所 代表取締役社長 / 所長	
専門分野	システムバイオロジー、人工知能、ロボット、デザイン、エネルギー	
略歴： <p>1984年国際基督教大学 教養学部 理学科卒業。1991年京都大学博士号（工学）取得。1993年にソニーコンピュータサイエンス研究所へ入社し、2001年より代表取締役社長 / 所長を務めている。また、2001年にはシステム・バイオロジー研究機構を設立して会長に就任した。「ロボカップ」の提唱者の一人でもあり、国際委員会ファウンディング・プレジデントを務めているほか、World Economic Forum（世界経済フォーラム）AI & Robotics Council 委員、ソニー株式会社 執行役員などを兼任している。</p>		
メッセージ： <p>本質的に重要な問題をどのように解決するのか、どのような枠組みを作れば解決へと加速することができるのかがいつも頭の中にあります。</p> <p>そこで、人工知能やロボットの研究をさらに加速させるためには、グランドチャレンジが必要だと考え、「2050年までに、FIFA World Cupのチャンピオンチームに勝利する完全自律型ヒューマノイドロボットのチームを開発する」ことを目標としたロボカップを立ち上げました。さらに現在は、「2050年までにノーベル賞級の科学的発見を行うAIシステムを開発する」ことを目標にしたチャレンジにも取り組んでいます。</p> <p>AIの進化に伴い、私たちの社会、生活、文明は大きく変わりつつあります。このフロンティアの分野で、AIによる新しい可能性を見出し、ともに挑戦していく人たちに会えることを楽しみにしています。</p>		

メンター紹介

氏名	清水 亮	
ふりがな	しみず りょう	
所属	ギリア株式会社 代表取締役社長	
専門分野	深層学習、コミュニケーションアーキテクチャ	
略歴： <p>新潟県長岡市生まれ。プログラマーとして世界を放浪した末、2017年にソニーCSL、WiL LLC.と共に GHELIA 株式会社を設立。「ヒトとAIの共生環境」の構築に情熱を捧げている。主な著書に『教養としてのプログラミング講座』（中央公論新社）、『よくわかる人工知能』（KADOKAWA）、『プログラミングバカー代』（晶文社）など。</p>		
メッセージ： <p>AIは、コンピュータが本来目指していたものであり、現代のコンピュータのまさしく延長線上にあるものです。ところがAIの効果的な使い方をまだ誰も知りません。AIの効果的な応用については現在のところ、まったくの手探りに近い状態で、これはまさしくフロンティア分野であると言えます。</p> <p>未踏の地のさらにその先として、AIフロンティアへチャレンジしたいという若者たちと一緒に頭を悩ませる日々思い馳せワクワクしているところです。</p> <p>私はメンターというよりはみなさんと同じ目線で物事を考え、できるだけみなさんの能力や興味を引き出す指導方法を心がけたいと考えています。最先端のAIが指し示す可能性に胸をときめかせている人、技術が好きで夜も眠れないほど興奮してしまう人、世界を自分の手で変えてみたいと強く願っている人のご応募をお待ちしております。</p>		

メンター紹介

氏名	吉崎 航	
ふりがな	よしざき わたる	
所属	アストラテック株式会社 取締役 / チーフロボットクリエイター	
専門分野	ロボット、制御ソフトウェア	

略歴：

ロボット制御システム「V-Sido」開発者。2009年にIPA（独立行政法人情報処理推進機構）が実施した「未踏IT人材発掘・育成事業」に採択され、スーパークリエイターに認定される。水道橋重工の巨大ロボット「クラタス」など、数多くのロボット制御に携わったのち、2013年にアストラテック株式会社の立ち上げに参画する。ロボット革命イニシアティブ協議会 参与一般社団法人ガンダム GLOBAL CHALLENGE システムディレクターも務めている。

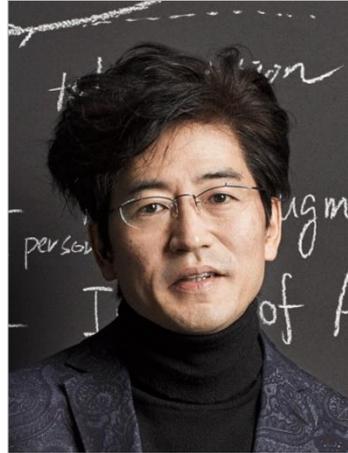
メッセージ：

AIでロボットを動かしてみたい方、募集します。

私をはじめAIを使ってロボットを動かしたいと思ったのは中学生のころでした。当時、Cで個人が作れるレベルの対話ソフトやGA、ニューラルネットワークをいくつか試した結果、先に駆動部周りのソフトウェアを開発する必要がある考え、V-Sidoを作りました。

私はAIの道からはそれてしまいましたが、AIを取り巻く状況が大きく変わった今、できることはかなり増えていると感じています。アイデア段階では、実現可能性は重要視しません。手法も流行りのものである必要はありません。AIに関する何らかの技術をお持ちで、それをロボットで活用したい夢をお持ちの方を募集します。

メンター紹介

氏名	暦本 純一	
ふりがな	れきもと じゅんいち	
所属	東京大学大学院 情報学環 教授 / 株式会社ソニーコンピュータサイエンス研究所 副所長	
専門分野	ヒューマンコンピュータインタラクション、ヒューマンオーグメンテーション	
略歴： <p>理学博士、情報科学者。世界初のモバイルAR（拡張現実）システム NaviCam を1990年代に試作、マルチタッチの基礎研究を世界に先駆けて行うなど常に時代を先導する研究活動を展開している。現在は、Human Augmentation（人間拡張）の研究、人間とAIの能力がネットワークを越えて相互接続・進化していく未来社会ビジョンである Internet of Abilities (IoA) の具現化を行っている。iF Interaction Design Award (2000)、日本文化デザイン賞 (2003)、日経BP技術賞 (2008)、日本ソフトウェア科学会基礎科学賞 (2014)、ACM UIST Lasting Impact Award (2014、2017) など受賞多数。2007年にはACM SIGCHI Academyに選出された。</p>		
メッセージ： <p>天使のように大胆に、悪魔のように最新に。あなたが思いついたどんな突飛な発想でも、思いつきで終わることなくそれを現実に着地させることでイノベーションにつながります。大胆な発想ができ、そして、それをどう具現化していくかの、緻密で、ときには地味な努力を厭わない応募者を期待しています。ぜひ妄想を現実化してください。</p>		

メンター紹介

氏名	中原 啓貴	
ふりがな	なかはら・ひろき	
所属	東京工業大学 工学院 情報通信系 准教授	
専門分野	深層学習、機械学習、計算機アーキテクチャ、FPGA、多値論理	
略歴： <p>2007年に九州工業大学 博士後期課程を早期修了し、博士（情報工学）を取得。同年、九州工業大学 情報工学部 電子情報工学科 産学官連携研究員、2011年鹿児島大学 大学院 理工学研究科 工学系電気電子専攻 助教、2014年愛媛大学 大学院理工学研究科 電子情報工学専攻 講師を得て、2016年から東京工業大学 工学院 情報通信系 准教授。その間、2012年3月に英国オックスフォード大、2019年にインペリアルカレッジ大に研究員として滞在。近年はディープラーニングをFPGAに効率よく実現する設計法に取り組んでいる。</p>		
メッセージ： <p>AI、特に深層学習はこれまでの機械学習では実現できなかった複雑なタスクを実現できつつある一方、大量のパラメータと計算量を必要とするため、既存の計算機ではスピードや消費電力といった問題をいまだに抱えており、即急な解決が望まれています。</p> <p>私は自分自身で計算機を一から作ること、そして可能な限り速くすることに興味があり、常に自ら手を動かし、時には鉛筆と紙で理論を考えながら、あらゆる方法で最高の計算機を求めて研究をしています。AIの高速化はやりがいのあるテーマであり、私と一緒にこの難題にチャレンジしてみたい人のご応募をお待ちしております。</p>		